

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-175208

(43)公開日 平成6年(1994)6月24日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 3 B 17/18  
H 0 4 N 5/232

識別記号 庁内整理番号

Z 7316-2K  
Z

F I

技術表示箇所

(21)出願番号

特願平4-345156

(22)出願日

平成4年(1992)12月2日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 今野 正徳

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ  
ノン株式会社内

(74)代理人 弁理士 田北 崇晴

審査請求 未請求 請求項の数1(全12頁)

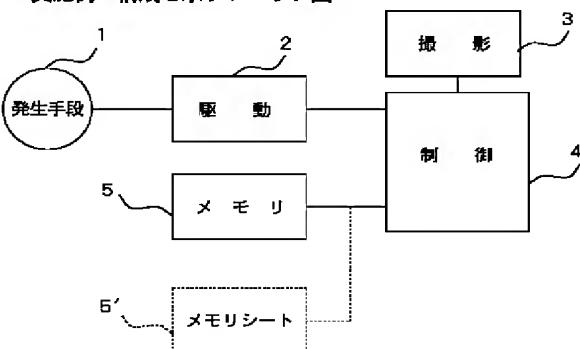
(54)【発明の名称】撮影装置

(57)【要約】

【目的】被写体の注意を強く引きつけることのできる撮影装置を提供すること。

【構成】撮影前及びまたは、撮影中にスイッチ1をONし、撮影者M(母親)の声を発生手段(発音体)1を通して、メモリ回路5に記録しておく。被写体(幼児)の注意が散漫になっている時や、撮影者が撮影M(母親)から、撮影者P(父親)に変更し、被写体(幼児)の関心が撮影者P(父親)になくなったような時、撮影者P(父親)は知覚動作モードを選択し、メモリ回路5に記録しておいた撮影者M(母親)の声を発生手段(発音体)1を通して被写体(幼児)に伝達するように動作するものである。情報は、メモリカード5、及びまたはメモリシート(におい袋)5'に予め保存してあるものを使用することも可能である。また、メモリシート(におい袋)5'の香りの発生は、駆動回路2に設けられるヒータへの通電による発熱によって発するように動作するものである。

第1の実施例の構成を示すブロック図



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】撮影装置から視覚、聴覚、臭覚、触覚、味覚からなる五感による少なくとも1つの情報を被写体に伝達する情報の発生手段と、撮影前及び／または撮影中に前記情報を保存する手段とを設け、撮影前及び／または撮影中に前記情報を前記保存手段を介して、前記発生手段より伝達することを特徴とする撮影装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、知覚効果を利用して、被写体の注意度を撮影者側に向ける撮影装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、この種の撮影装置の一例として銀塩カメラに見られるセルフタイマ撮影があげられる。これは、セルフタイマ撮影の時セルフタイマがスタートするとカメラ前面のセルフランプが点灯し、約10秒後シャッタが切れるまで調子が速くなりセルフランプが点滅に変わり、シャッタが切れるように構成されている。その他、単調な音やストロボがプレ発光するように構成されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来例では、撮影装置から被写体に対する知覚効果を促進する顕著な情報や刺激の提供がなく、セルフタイマ撮影時における単調な音や光による警告の場合としての情報として作動するため、被写体は撮影者側が意図する方向を注目しない欠点がある。

【0004】本発明はかかる課題を解決するためになされたもので、被写体の注意を強く引きつけることのできる撮影装置を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、この発明の撮影装置は、撮影装置から視覚、聴覚、臭覚、触覚、味覚からなる五感による少なくとも1つの情報を被写体に伝達する情報の発生手段と、撮影前及び／または撮影中に前記情報を保存する手段とを設け、撮影前及び／または撮影中に前記情報を前記保存手段を介して、前記発生手段より伝達するものである。

## 【0006】

【作用】本発明によれば、撮影装置からメロディー、音声、光の点灯・点滅・照射、物体の動作、香りの発生による知覚効果を促進する情報や刺激の発生手段を設け、この発生手段から、前記情報や刺激を被写体に伝達することにより被写体の注意度を撮影者側に向けようしたり、また撮影者が変わった場合にも被写体に同様の関心を促すようにしたものである。

## 【0007】

【実施例】本発明の第1の実施例である撮影装置のブロック図を図1に示す。図1において、1は発音体、発光

体、香りの発生体等の知覚情報を伝達する発生手段、2は発生手段1を駆動する駆動回路、3は撮影動作を行うための回路及びまたはユニット、4は撮影装置全体のシステムを制御する回路、5は発生手段1からのデータや信号を蓄積及びまたは保持するメモリ回路である。また、図5は第1の実施例の撮影フローチャートである。次に、図9乃至図14は、本発明の第1の実施例の具体例を示す図である。以下、図1について、図5、図9を参照しながら各部動作を説明する。

10 【0008】撮影前及びまたは、撮影中にスイッチ1をONし、撮影者M（母親）の声を発生手段（発音体）1を通して、メモリ回路5に記録しておく。被写体（幼児）の注意が散漫になっている時や、撮影者が撮影M（母親）から、撮影者P（父親）に変更し、被写体（幼児）の関心が撮影者P（父親）になくなったような時、撮影者P（父親）は知覚動作モードを選択し、メモリ回路5に記録しておいた撮影者M（母親）の声を発生手段（発音体）1を通して被写体（幼児）に伝達するように動作するものである。

20 【0009】情報は、メモリカード5、及びまたはメモリシート（におい袋）5'に予め保存してあるものを使用することも可能である。また、メモリシート（におい袋）5'の香りの発生は、駆動回路2に設けられるヒータへの通電による発熱によって発するように動作するものである。

【0010】また、図10においては、カメラを立入禁止区域の監視用モニタとして用いた場合、監視中にスイッチ1をONし、監視人の声を発生手段1を通してメモリ5に記録しておく。侵入者が立入禁止区域に入ると、30 カメラ内のメモリ回路5が記録しておいた監視人の声が発生手段（発音体）1を介して侵入者に伝達し、侵入者がカメラの方を向くので、その姿をカメラで撮影することができる。

【0011】図11においては、カメラの合焦位置に置かれた香り発生体11の周辺に昆虫等が飛来したとき、発生手段1を介して、香り発生体11から発する芳香に昆虫が近寄り、その状態をカメラに撮影することができる。

【0012】図12においては、カメラの合焦位置に置かれた振動マット12の周辺に幼児が近づいたとき、発生手段1を介して振動マット12が適度に揺れて、その姿を撮影することができる。

【0013】図13においては、ビデオカメラの合焦位置に置かれた振動マット13上の幼児を監視している際、幼児がグズついたりしたときは、発生手段1を介して振動マット13が心地よい振動を開始すると共に、快い音を発生し、幼児が上機嫌になったところを撮影することができる。

【0014】さらに、図14においては、屋外の蚊の飛来する環境等で撮影する場合、予めスイッチ1をONして蚊の嫌いな音や香りを発生手段1を通してメモリ5あ

るいはメモリシート5'に貯えておき、蚊が飛来したときは、メモリ5あるいはメモリシート5'に保存してある蚊の嫌いな音や香りが発生手段1を介して蚊に向かって発して、蚊が退散することにより快適な撮影ができる。

【0015】次に、以下に第1の実施例の動作について、図5のフローチャートを用いて説明する。図5において、S101(以下、Sはステップを意味する)はメインスイッチのON/OFFによって、撮影装置がS101~S107の撮影状態かS1000の未撮影状態を選択するものである。S101において、カメラのメインスイッチをONし、撮影状態を選択すると、撮影装置の全システムが初期状態となる。この状態において、S503のスイッチ1をONすることによって、撮影者M(母親)の声をメモリ回路5に記録するサブルーチンAに移ることが可能となる。S102では、情報を伝達するための知覚動作を選択するモードである。S102において、知覚モードを選択しなければS111~S115の普通の撮影装置の撮影フローをすることになる。S102において、知覚モードを選択すると、知覚効果を得る撮影フローをすることになる。S103において、通常撮影かセルフ撮影かを選択することができる。S103で通常撮影を選択するとS104のスイッチ1がONしている間、S105の知覚動作が行われ、S106でスイッチ2がONされるか、S104のスイッチ1がOFFされるか、S101のメインスイッチがOFFされるまで続けられる。S105、S110の知覚動作はS501において、メモリ回路5及びまたはメモリシート5'のメモリ内容の情報を確認、利用し、それに応じて、S502の発生手段1を駆動する駆動回路2で発生手段1に伝達する情報を処理し、発生手段1から出力し、S106のスイッチ2の動作に進む。S104でスイッチ1をOFFすれば、S105以下へは進まず、S102の知覚モード選択に戻る。S106でスイッチ2がONされるとS107の撮影動作に進み、撮影に必要な処理動作が行われ、S1000の撮影終了となる。S103でセルフ撮影を選択すると、S108のセルフタイマがスイッチ1及びまたは他の条件で動作し、タイマの設定時間内の間、S110の知覚動作(前記)が行われる。タイマの設定時間になるとS109に進み、スイッチ1とスイッチ2がONし、S107の撮影動作に進み、撮影に必要な処理動作が行われ、S1000の撮影終了となる。

【0016】図2は、本発明の第2の実施例の撮影装置のブロック図であり、図6はその撮影フローチャートである。この第2の実施例は、図1で説明した第1の実施例とほとんど同様であり、第1の実施例と同一の動作及び処理は同一の符号を付し、その説明は省略する。以下に図1との差異のみ説明する。

【0017】図6においては、撮影者からの伝達情報を

記録するメモリ回路5を構成せず、撮影時における発生手段(発音体)1からメロディーを発生する場合や発生手段(発光体)1から光が点灯、点滅、照射するように動作するものである。

【0018】また、図3は本発明の第3の実施例の撮影装置のブロック図であり、図7はその撮影フローチャートである。この第3の実施例は、図1で説明した第1の実施例とほとんど同様であり、第1の実施例と同一の動作及び処理には同一の符号を付し、その説明は省略する。そこで、第1の実施例との差異を説明すると、撮影装置にリモコン回路6を構成し、遠距離操作できるように動作するものである。

【0019】さらに、図4は本発明の第4の実施例の撮影装置のブロック図であり、図8はその撮影フローチャートである。この実施例は、図2で説明した第2の実施例とほとんど同様であり、第2の実施例と同一の動作及び処理は同一の符号を付し、その説明は省略する。第2の実施例との差異を説明すると、発生手段(発音体)1からメロディーを発生する場合や発生手段(発光体)1から情報をリモコン回路6より遠距離操作するように動作するものである。

#### 【0020】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は撮影装置から知覚効果を促進する情報や刺激を被写体に伝達する手段を設けることにより、被写体の注意が撮影者に強く向けられ、撮影者が変わった場合でも被写体に同じ注意度を促すことができる効果がある。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の第2の実施例の構成を示すブロック図である。

【図3】本発明の第3の実施例の構成を示すブロック図である。

【図4】本発明の第4の実施例の構成を示すブロック図である。

【図5】第1の実施例の撮影フローチャートである。

【図6】第2の実施例の撮影フローチャートである。

【図7】第3の実施例の撮影フローチャートである。

【図8】第4の実施例の撮影フローチャートである。

【図9】第1の実施例の具体例を示す図である。

【図10】第1の実施例の具体例を示す図である。

【図11】第1の実施例の具体例を示す図である。

【図12】第1の実施例の具体例を示す図である。

【図13】第1の実施例の具体例を示す図である。

【図14】第1の実施例の具体例を示す図である。

#### 【符号の説明】

1 発生手段

2 駆動回路

3 撮影動作を行うための回路及びまたはユニット

5

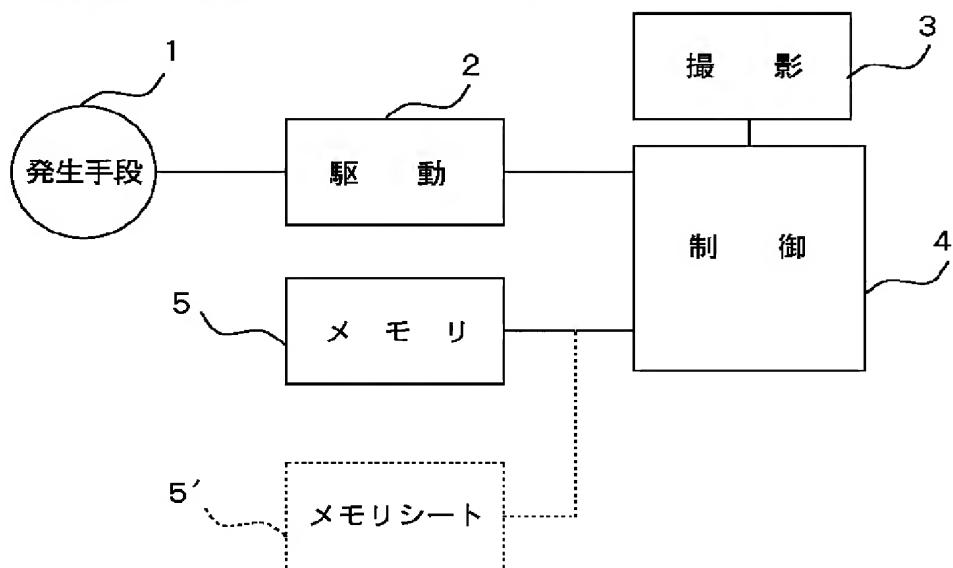
4 撮影装置全体のシステムを制御する回路  
 5 メモリ回路

6

6 リモコン操作するための送信・受信回路

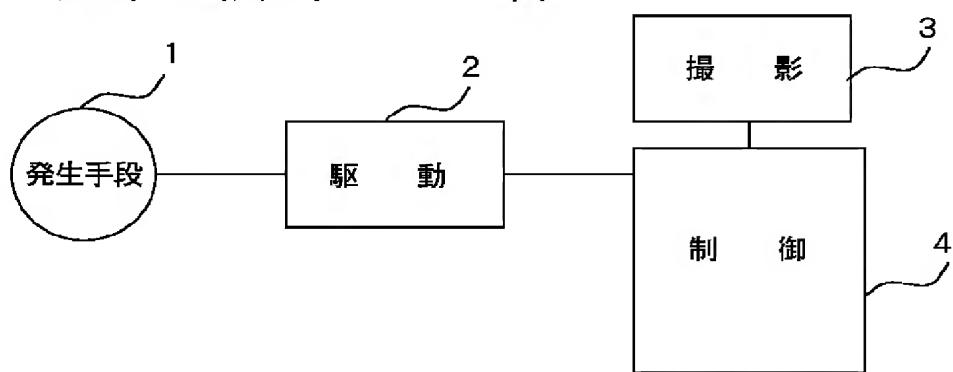
【図1】

## 第1の実施例の構成を示すブロック図



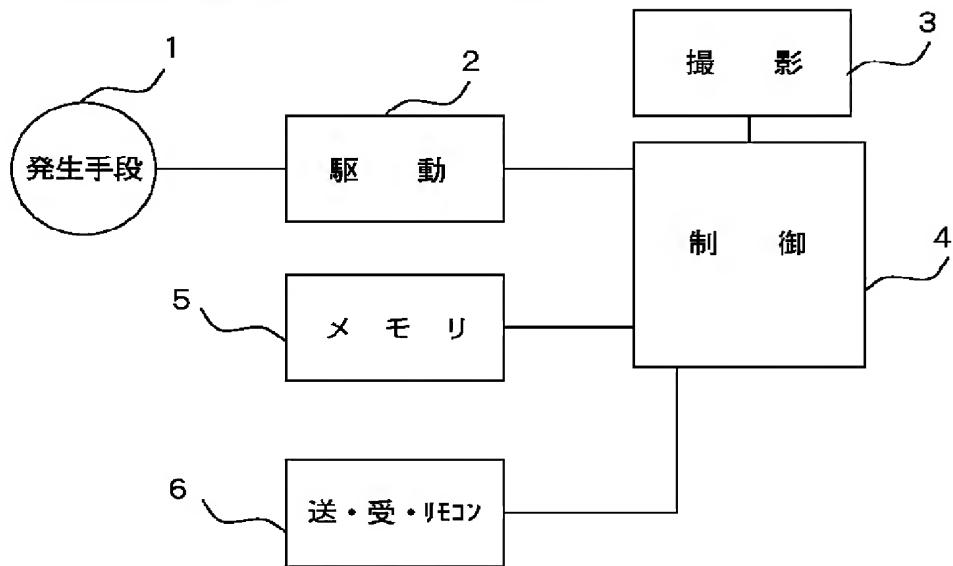
【図2】

## 第2の実施例の構成を示すブロック図



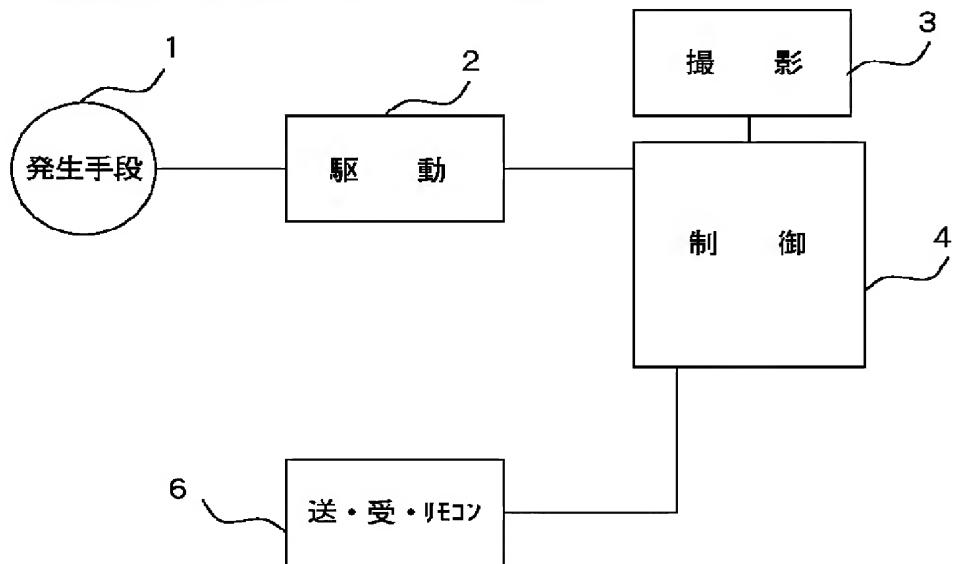
【図3】

## 第3の実施例の構成を示すブロック図



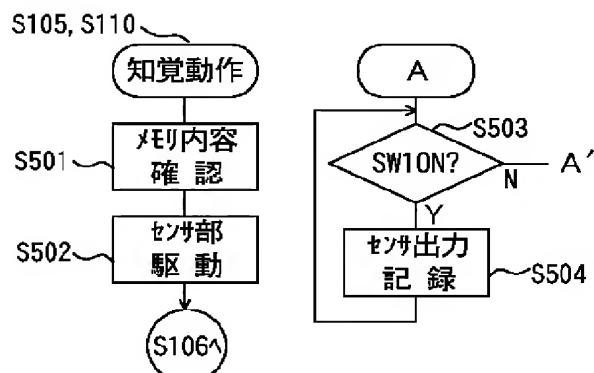
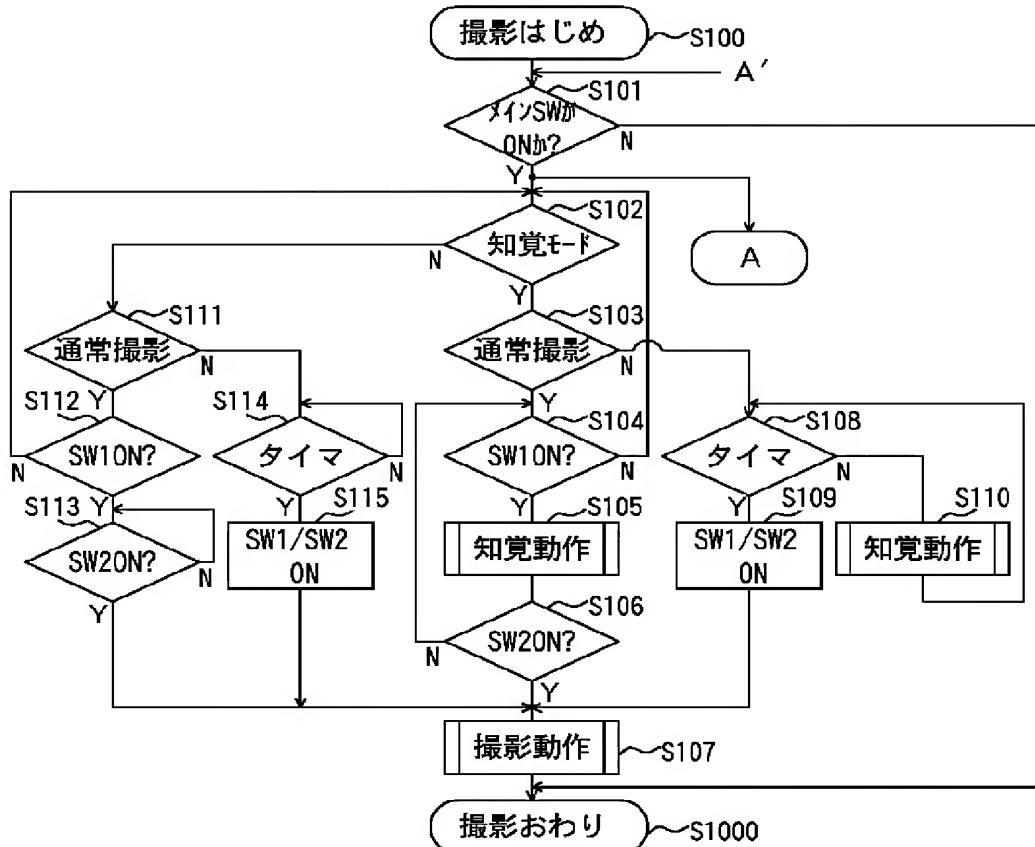
【図4】

## 第4の実施例の構成を示すブロック図



【图5】

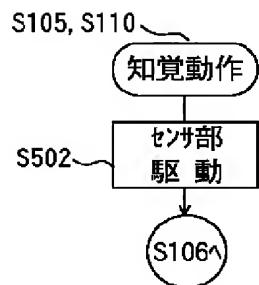
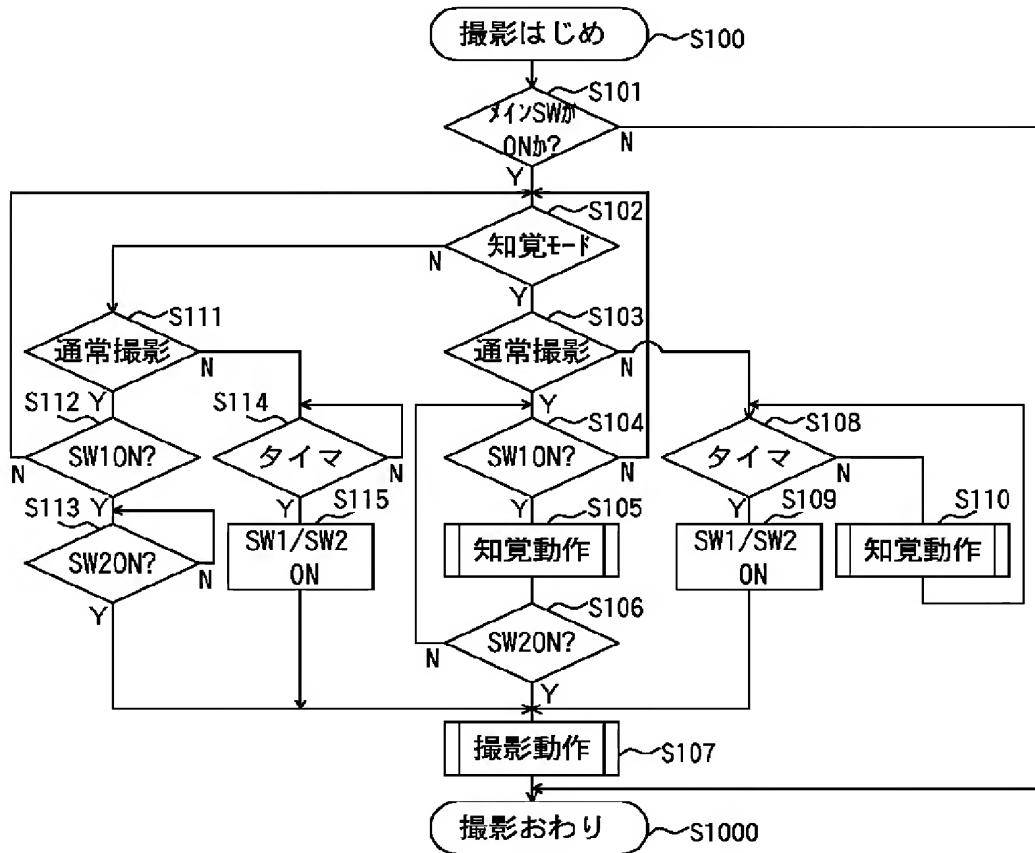
## 第1の実施例の撮影フローチャート



- ・SW=スイッチの略称
- ・S104, S112, S503のSW1は同じもの
- ・S106, S113のSW2は同じもの
- ・S105, S110は同じ動作
- ・S114, S108は同じ動作

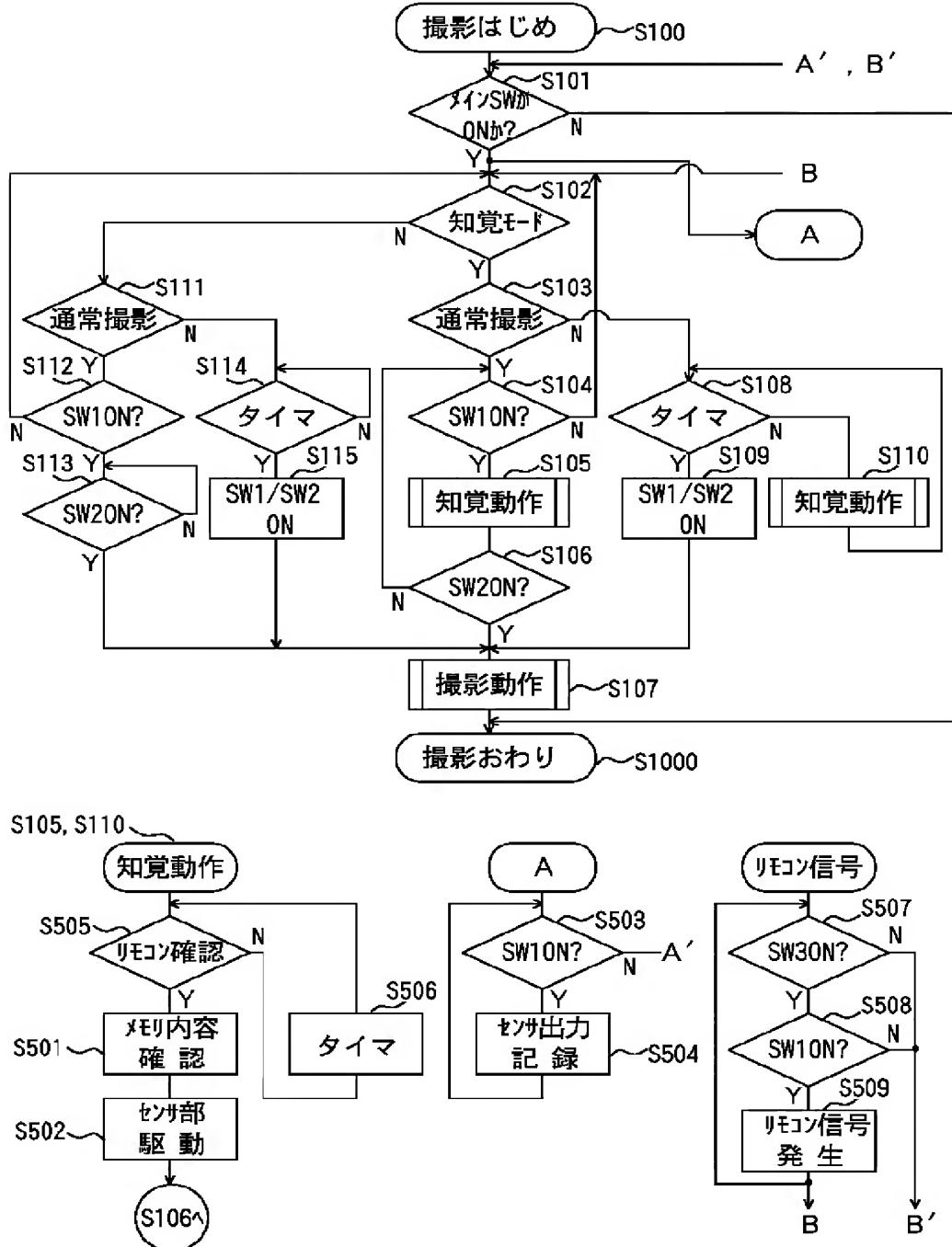
【図6】

## 第2の実施例の撮影フローチャート



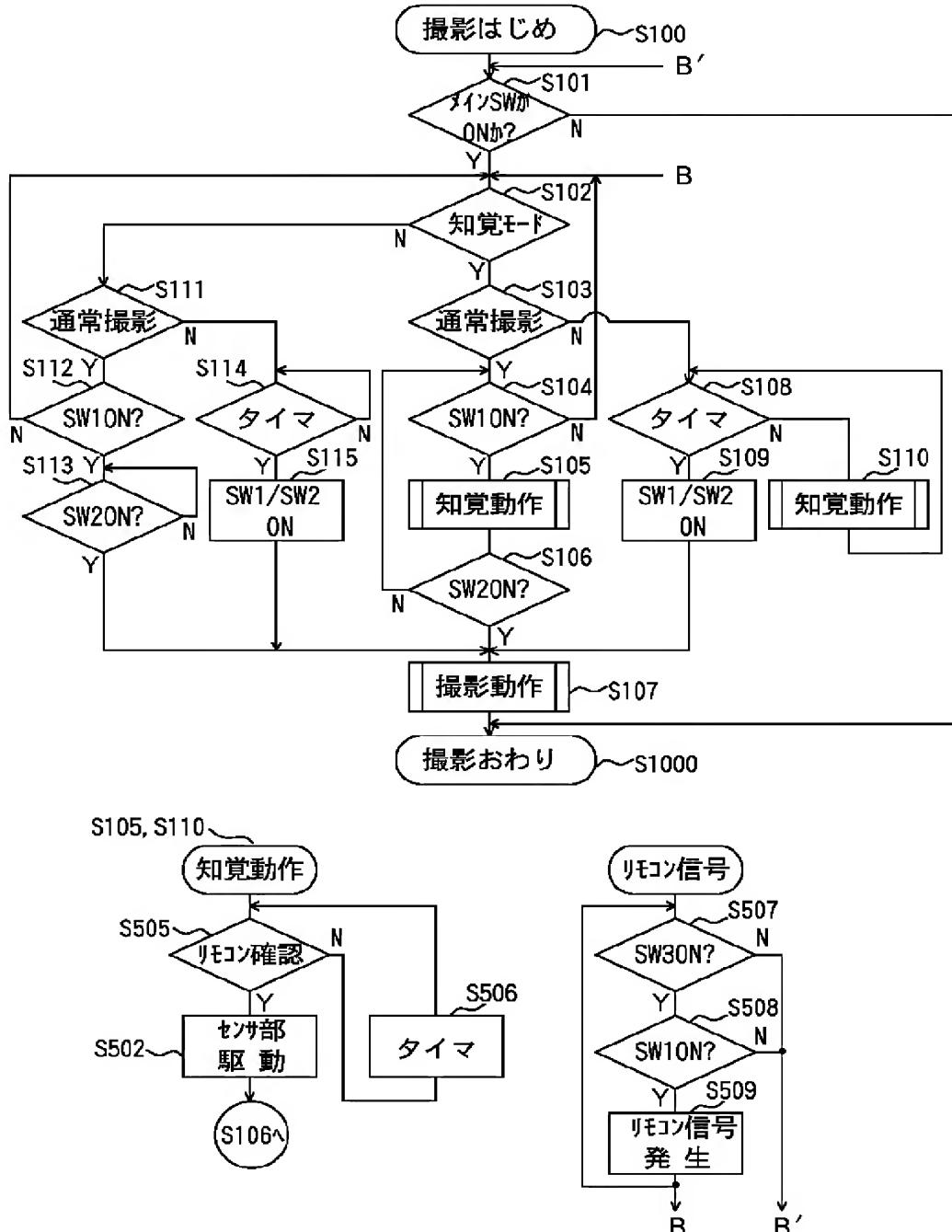
【図7】

## 第3の実施例の撮影フローチャート



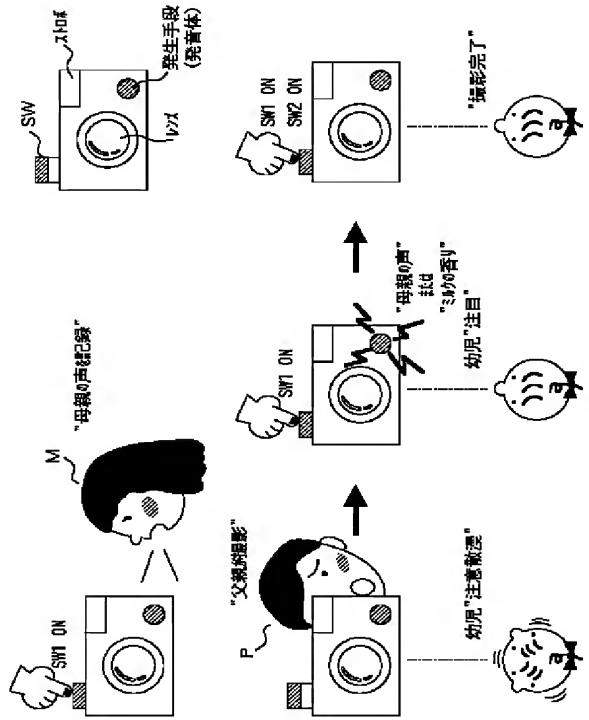
【図8】

## 第4の実施例の撮影フローチャート



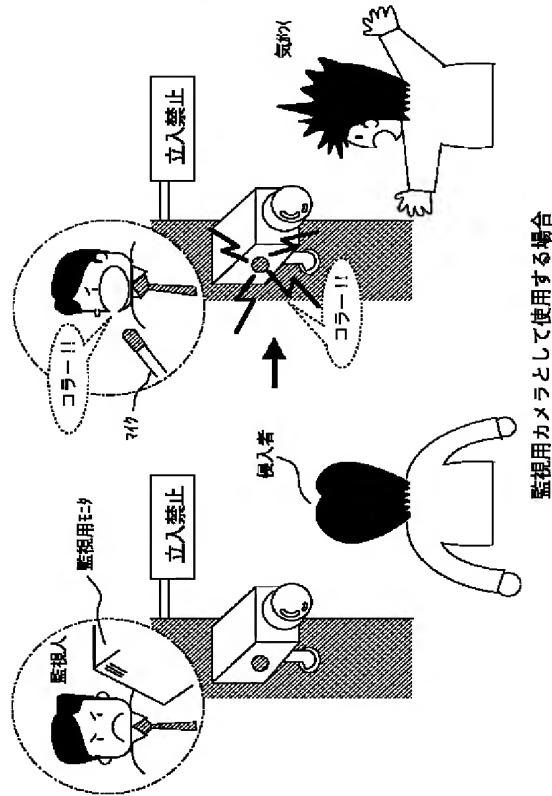
【図9】

第1の実施例の具体例を示す図



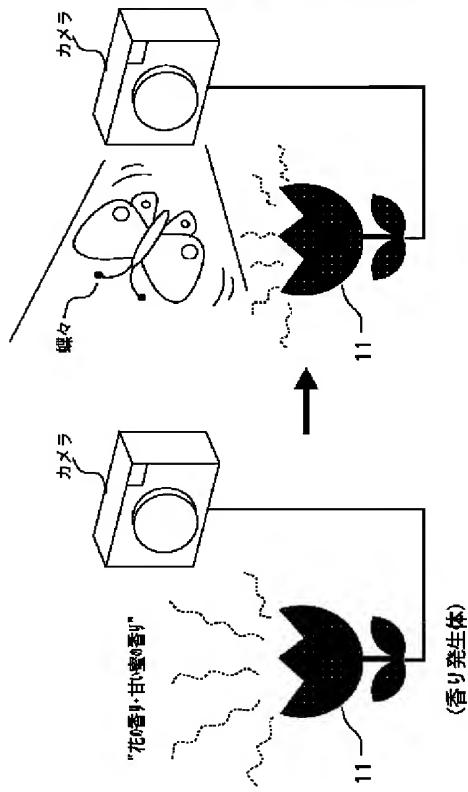
【図10】

第1の実施例の具体例を示す図



【図11】

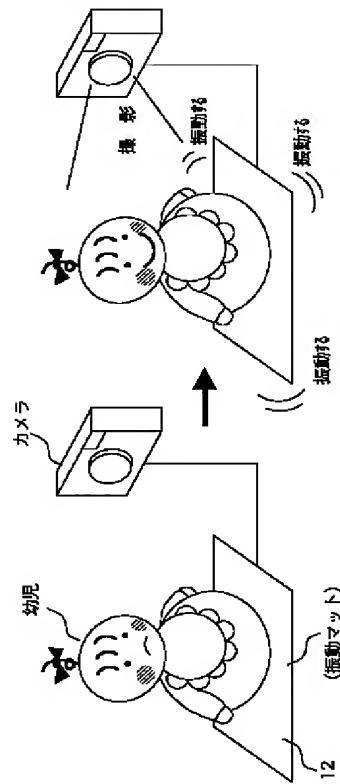
第1の実施例の具体例を示す図



昆虫及びまたは植物、動物、魚などの生命体の場合

【図12】

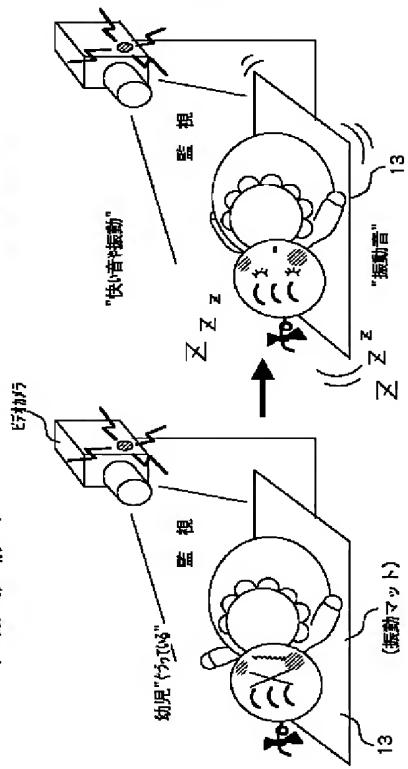
第1の実施例の具体例を示す図



【図13】

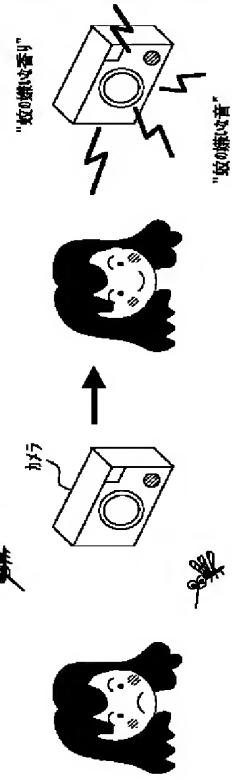
第1の実施例の具体例を示す図

&lt;撮影直前&gt;



【図14】

第1の実施例の具体例を示す図



ハイキングなどで使用する場合

**DERWENT-ACC-NO:** 1994-243277

**DERWENT-WEEK:** 199430

*COPYRIGHT 2008 DERWENT INFORMATION LTD*

**TITLE:** Still picture camera with memory  
transmits voice of person, stored  
in memory to photographic subject  
to warn subject that picture is  
about to be taken

**INVENTOR:** KONNO M

**PATENT-ASSIGNEE:** CANON KK [CANO]

**PRIORITY-DATA:** 1992JP-345156 (December 2, 1992)

**PATENT-FAMILY:**

<b>PUB-NO</b>	<b>PUB-DATE</b>	<b>LANGUAGE</b>
JP 06175208 A	June 24, 1994	JA

**APPLICATION-DATA:**

<b>PUB-NO</b>	<b>APPL- DESCRIPTOR</b>	<b>APPL-NO</b>	<b>APPL-DATE</b>
JP 06175208A	N/A	1992JP- 345156	December 2, 1992

**INT-CL-CURRENT:**

<b>TYPE</b>	<b>IPC DATE</b>
CIPP	G03B17/18 20060101

CIPS

H04N5/232 20060101

**ABSTRACTED-PUB-NO:**

**EQUIVALENT-ABSTRACTS:**

**CHOSEN-DRAWING:** Dwg. 1/14

**TITLE-TERMS:** STILL PICTURE CAMERA MEMORY  
TRANSMIT VOICE PERSON STORAGE  
PHOTOGRAPH SUBJECT WARNING

**DERWENT-CLASS:** P82 W04

**EPI-CODES:** W04-G01B7; W04-M01B1C; W04-M01D1;

**SECONDARY-ACC-NO:**

**Non-CPI Secondary Accession Numbers:** 1994-197181